

外国語活動・英語

9年間でつきたい力

【発信力】身近な場面における出来事や体験したこと及び自分の暮らしている郷土について、自分の考えや気持ちなどを、適切な英語表現で読み手や聞き手に正しく伝えることができる

【理解力】書き手、話し手の意向、考えや気持ちを適切に理解するとともに、日本や世界の情報を的確に判断し、正確に理解できる

【アティチュード（態度）】①英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができる
②日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気づき、それらを尊重することができる

③英語の音声やリズム及び日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気づくことができる

重点指導

学年	前期課程 1・2・3・4 年	前期課程 5・6 年	後期課程 7・8・9 年
区分	ホップステージ	ステップステージ	ジャンプステージ
時間	【1・2年生】 短時間学習10分(週2回) +12～15時間(年間) 【3・4年生】 短時間学習10分(週2回) +35時間(年間)	短時間学習10分(週2回) +35時間(年間) +学校裁量の時間(月2回)	短時間学習10分(週2回) +140時間(年間)
担当	短時間学習：特別支援学級担任(免許所有、英語授業指導経験あり) コマ(授業)：ALTと特別支援学級担任	短時間学習：英語指導教諭 コマ(授業)：ALTと指導教諭	短時間学習：7年生担任(免許所有、英語授業指導経験あり) コマ(授業)：ALTと7年生担任
指導目標等	○簡単な英語をたくさん聞かせる。 ○簡単な英語を使って、相手と積極的に関わろうとさせる。 ○英語の面白さに気付かせ、異文化を受け入れる気持ちを養う。	○英語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めさせる。 ○英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ○英語の音声や基本的表現に慣れ親しませる。	○語彙力を強化し、4技能をバランスよく向上させる。 ○文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語材料を理解だけにとどまらず運用させる。 ○自律的な学習者を養成する。 ○英語の表現や技法を用いて、コミュニケーションを継続しようとする態度を育成する。
内容	読み聞かせ(絵本、ビックスブック)を中心に、フォニックス等の英語DVD教材を活用し、インプットをたくさん行い、英語耳をつくるとともに、「話したい」という気持ちを醸成する。	Hi, friends!1と2を使用し、聞く力の育成やフォニックス、チャンツ、ダンス、歌などで体験的理解を培うとともに、身近な事象について英語で表現する能力を養う。	Talking Time(簡単な会話練習)、自己表現力(書く、話す)の育成(スピーチ、Show&Tell)及び会話練習(英検面接練習をモデルにして)などの短時間学習を行う。また、教科書や副教材を活用し、自分や自分の身の回り、学校や郷土について、英語で発信する表現力を養う。